

建築士 やまなし

No.73

— ARCHITECTURE YAMANASHI —



Photo: KAORU YAMADA

①



Photo: 表 恒匡

②



Photo: 小川 重雄

③



Photo: 鈴木 研一

④



Photo: GlassEye Inc. / 海老原 一己

⑤



Photo: 千葉 顕弥

⑥



Photo: 青柳 茂

⑦

■平成29年度 山梨県建築文化賞受賞作品

- ①サンカク〔住宅〕(建築文化賞)
- ②女神の森セントラルガーデン〔一般〕(建築文化賞)
- ③evam eva yamanashi〔一般〕(建築文化奨励賞)
- ④河口湖とらのご保育園〔一般〕(建築文化奨励賞)
- ⑤山中湖村平野地区公園「ゆいの広場ひらり」〔北工区〕(公共)(建築文化奨励賞)
- ⑥小淵沢駅合築駅舎〔公共〕(建築文化奨励賞)
- ⑦丸藤ワイナリーの事務所棟
(良好なまちなみ景観)(建築文化奨励賞)

●目次●

県政功績者表彰を授与されて 甲府支部 望月 健…………… 2

日本建築士会連合会長表彰を授与されて 都留支部 渡辺 譲・大月支部 和田之男…………… 3

伝統的技能者表彰を授与されて 身延支部 田中一史…………… 4

山梨県建築士会第52回スポーツ大会開催に寄せて 身延支部 望月 武…………… 4

第60回 建築士会全国大会 京都大会参加報告 青年部会 長坂 治・横山 潤一、北富士支部 石倉 宏二 …… 5

青年部会の活動報告 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会理事 渡辺省三・長坂 治 …… 6

女性部会の活動報告 女性部会 塩澤礼子…………… 6

山梨県地震防災訓練(被災建物応急危険度判定訓練) 石和支部 鶴田正樹…………… 7

第1回 山梨県建築士の集い 実行委員会発足 青年部会 長坂 治…………… 7

オリンピックの年までに日本の住宅(建物)が変わる 編集委員会 河野 広…………… 8

気候風土適応住宅、山梨県での取り組み報告…………… 8・9

県からのお知らせ 平成29年度 山梨県建築文化賞 山梨県建築文化賞推進協議会…………… 10

事務局よりお知らせ 会員の動静…………… 11

編集後記…………… 12

県政功績者表彰を授与されて

甲府支部

望 月 健



この度、図らずも「県政功績者」という榮譽ある賞を、11月20日 県民の日に夫婦同伴にて、後藤 齋 山梨県知事より授与されました。身に余る光栄であり、心から感謝申し上げます。

建設業界には、父親の言われるまま身を投じて早57年を数えます。一級建築士の資格を取って46年になりますが、建築士会には、建築生産現場での付き合いの中で、大勢の諸先輩方から薦められて入会いたしました。

爾来、主に福祉委員会の中で活動してまいりました。毎年の全国大会への参加も、翌日は観光組とゴルフ組に別れて楽しい思い出となっております。又、会員相互の親睦と健康増進の為にしている親睦スポーツ大会も、当初は、ソフトボール大会を行っていましたが、副委員長に就任した折、年々怪我をされる方が増えることと、老若男女どなたでもプレイしやすく多勢の方々に参加していただけることを望み、種目変更を進言したグランドゴルフ大会は早15回を数える大会となっております。

毎年各支部持ち回りで県下全域より200余名の参加者が最後迄、楽しく一日を過ごし、親睦を計っている事は大変意義のある事と思っております。

平成16年には、山梨県建築士会会長表彰、

19年には全国建設業協会会長表彰、21年には日本建築士会会長表彰を頂いており、この度の表彰理由の中で「長年にわたり建設業の振興に努め、県政の推進に貢献」そして「建築士会会員として、会の発展に寄与」とありました。

はたして、私が県政に、また建築士会に、どれほどの事が出来ていたのか、いささかも思い当たりません。これも、ひとえに諸先輩方も含めた、会員の皆様のお支えがあったからこそと思っております。

これからも微力ではありますが、建築士会の発展の為に出来る限りのご協力を続けさせて頂く所存であります。

改めまして、両宮会長初め、会員諸兄、関係行政機関、そして、事務局の皆様には厚く御礼を申し上げまして挨拶と致します。



日本建築士会連合会長表彰を受けて

都留支部

渡 辺 讓



本年度第60回になります建築士会全国大会・京都大会において、日本建築士会連合会長表彰の栄誉を受けさせて頂きました。これまで係わっていただきました方々、とりわけ都留支部の同胞の皆様大変ありがとうございました。還暦にあたる節目の本大会のテーマは「山とまちと木造建築」。気になっていた木造建築に触れるべく寄り道をしました。通し矢で知られる蓮華王院・通称三十三間堂。長いお堂と入母屋・本瓦葺きの美しい木組みの妙は無論のこと、1001体の千手観音像の整然とした様は実に圧巻。厳かで穏やかな時間でありました。さて、建築士会都留支部が設立されたのは平成8年5月、北富士支部からの独立。新しい支部づくりに夢を膨らませていました。以来21年、青年部の活躍もあり、本会・他支部との交歓も盛んになってまいりました。あとは支部の独自性、地域の建

築文化をどう表現していくかであります。支部の仲間とこの難題に取り組み、解決していければと思っております。本大会記念式典での三井所会長の挨拶の中での二つのことにふれてみます。社会貢献としてのまちづくり委員会5つの部会のうち、空き家部会の活動。先日都留市においても、各専門家（建築士・司法書士・家屋調査士・宅建士等）との協働による空き家相談会が開催され、数件の相談を受けましたが、奥が深く課題が山積です。また、建築士会の新しい活動として、既存住宅の流通を促進する既存住宅状況調査技術者（インスペクター）の養成講習の推進。今後、講師としての役割に加え、その実践にも目を向けていきます。こうした建築士会での活動に寄与できることに感謝するとともに、本会の益々のご発展・会員の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

日本建築士会連合会長表彰を授与されて

大月支部

和 田 之 男



本年度の全国大会で表彰を頂きました。

私と建築との出会いは小学生の頃だったと思います。ひと回り上の兄が建築学科の学生で、部屋には建築雑誌が転がっていました。別に悪い事ではないのですが、隠れて観ていた記憶があります。その中にカナダのトロント市庁舎の写真がありました。子供心にその形に感動し、今振り返ると、私と建築との最初の出会いであったと思うのです。

昭和30年代の地元、大月の建物は木造の建物ばかりなのに対し、その建物は中央の円盤状の議場を包み込む様にカーブ状に高層の曲線の建物が二棟並立した庁舎でした。まるでSFの世界に入り込んだ様で、その格好の良さに感動していました。その後中学、高校と様々な分野への憧れを持ちながら挫折も経験し、最終的には建築の道を選んだきっかけを、この雑誌が作ったのだろうか。

その兄に勧められ建築士会に入会し、進藤哲雄さんを始め、諸先輩の皆さんと共に活動を続けてきま

した。「この人達は次元が違うな」というのが第一印象で、皆さん自信と信念を持っている事に対し、自分の勉強不足を痛感していました。

これまで増穂町や身延町のまちづくり、山梨県近代化遺産総合調査など皆さんと夜遅くまで議論を交わしていました。関東ブロック青年協議会の会長職に就いた事も良い経験をさせて頂いたと思います。また、ニューヨークへの研修旅行も楽しい思い出の一つです。

地元、大月では大月短期大学地域づくりゼミに参加し、大月駅前や商店街の活性化に地域の皆さんと共に取り組んで来ました。

齢60を超えてから、建築に対する意欲が少し弱くなった様な気がしていましたが、ルイスカーンは50歳を超えての遅咲きと言われました。ならば私は60歳代を超えて・・・。人生の節目となる瞬間は、自分ではそれと分からないものなのでしょうが、何にしても自分の一生を俯瞰して、そこに残した建物は一刻一刻の断面として存在する事は間違いない。

伝統的技能者表彰を授与されて

身延支部

田 中 一 史



この度、山梨県建築士会より推薦をいただき全国大会において、図らずも伝統的技能者表彰を授与され、まさに身に余る光栄と存じ、ただただ関係者各位に対し心より御礼を申し上げる次第であります。12月8日の朝家を出て、一緒に仕事をしている弟と私の長男と新幹線で京都全国大会に出席してまいりました。会場は「みやこめっせ」というとても大きな会場でした。受賞した伝統的技能者表彰は23人おりましたが、建築大工での受賞は少ないようでした。受賞の中でも私が最年少ではなかったかと思えます。第60回目の節目の大会での受賞は生涯忘れることはありません。かつて私の父親も平成2年に伝統的技能表彰をいただいております。親子で同じ賞をいただけたことは、やはりこの仕事をしていてよかったとつくづく思う次第です。私もこの仕事について40数年になります。

建築士会においては、青年部活動やソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会にも積極的に参加してまいりました。とくに青年部活動においては、関東甲信越建築士会ブロック青年建築士協議会にも参加して大変思い出に残る時期を過ごさせていただくことができました。また多くの先輩や知人もできましたことは、建築士会に入会して本当によかったと思えました。祖父も親父も建築士会の支部長を務めました。祖父が起業して100年以上4代にわたり事業を継承してきて、これからも微力ながら、ずっと地元地域のため、建築士会発展のために努力していきたいと思えます。今回の表彰の栄誉を得られたのは、本会の雨宮会長をはじめ事務局の皆さん、並びに支部の皆様のお厚意の賜物と存じ、改めて厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

山梨県建築士会 第52回 スポーツ大会開催に寄せて

身延支部 望 月 武

今回山梨県建築士会52回スポーツ大会を控え、身延支部の少ない会員での早めの準備体制の中、残念な事に当日雨天球技中止の結果になりました。

前回平成19年に身延町内で開催させて頂き、早いもので10年が経ちました。

今回の大会を迎えるに当たり、各支部の皆様にも少しでも大会を通じて今まで以上に身延町の良さを知っていただくことで、身延支部のカラーを感じて頂ければと思いつつ準備に会員一人一人が頑張りました。今回雨天中止の結果ではありましたが、各支部の多数の皆さんのスポーツ大会参加意欲の前向きな協力体制に身延支部として心から感謝しております。球技無しの大会式典だけの流れの中でも、会員の皆さんの笑顔を拝見させて頂きました。

今回のスポーツ大会開催に当たり、素晴らしい建築士会の各支部会員の皆様の建築士としての心構え(各支部の団結力・有効心)を改めて強く実感しました。建築士であることが嬉しく誇りに感じる良き最高の一日でした。



第60回 全国大会京都大会・青年フォーラム・環境部会セッション

青年部会 長 坂 治・横 山 潤 一

昨年12月開催となった今年の全国大会。冬に差し掛かった京都、数々の美しさにも触れながら、7日の青年建築士フォーラムと、8日の午前中のセッションを中心に参加してきました。

青年フォーラムでは、フィールドワークとして六原学区のまち歩き(写真)、それを掘り下げるディスカッションとしてスタディーワーク、その後の交流会。全国各地域の建築士と同じ課題を元にした話し合いは、同志との研鑽、気付きの多いものとする事が出来ました。

環境部会セッションでは、「各地の気候風土型認定住宅指針策定に向けた単位建築士会の取り組み」をテーマに、京都大会での環境部会セッションが実施され、実践者からの報告を元にして、パネルディスカッションが開催され、その中で山梨県の取り組みを、資料(気候風土適応住宅のページ参照)を元に報告させていただきました。

今年の青年部ツアーは少人数でしたが、見学につい

ては、工事中の清水寺には大規模な丸太足場、京町家散策、河井寛次郎記念館ではシステムと住居、重要文化財 聴竹居(1928年 建築家藤井厚二第5回住宅 自邸)の見学は、得るものが多い機会でした。全国大会への参加は様々なケースがありますが、青年部会としての参加の魅力は、ここでは書き表しきれないので、次回は多くの方とご一緒できればと思います。



第60回 建築士会全国大会 京都大会参加報告

北富士支部 石 倉 宏 二

昨年12月8日から京都市内で行われた第60回建築士会全国大会に北富士支部15名で参加してきました。

一年前、北富士支部役員会で「全国大会京都大会を、毎年行っている施設見学会として、多くの参加者を募りましょう」という声掛けのもと、見学委員会の皆さんの企画で、今回の全国大会への参加となりました。

京都みやこめっせの会場では「山とまちと木造建築」をテーマとし情熱あふれる全国の建築士が集い、様々なセッション、フォーラムで熱い意見交換がなされていました。

北富士支部では9日に京都市内の木造建築物や街並みを見学し、10日には大阪市内の建築物や街並みを見学し帰路に着きました。

私自身、十年以上全国大会に参加していなかった為、今回の大会を通じて様々な刺激を受け、一緒に参加した建築士の方々と 世代を超え、職業を超え交流できたことは素晴らしい経験ができたと感じました。

今年は「歴史に感謝 未来に感謝」をテーマとし埼玉県で61回目の大会が行われます。より多くの方々と交流できることを楽しみにしております。



青年部会の活動報告

関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会理事

渡辺省三・長坂 治

青年部会の活動は、関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会を軸にしているといえます。毎年6月に開かれている、10都県持ち回りで開かれているこの大会は、理事会と開催県での実行委員会により内容を構成し、実施されています。

平成30年度は栃木大会『Re:』（源点回帰）をテーマに、栃木市を会場に、「地域との関わり方」「建築のすばらしさ・楽しさ」「建築士としての役割」について考え、感じ、建築士としての原点について見つめ直すことを目指しています。

理事会では中から選出した執行部を中心にウェブ会議や、年数回の理事会を経て、大会概要が定まってきています。例年第3分科会と大会全体像をより良くすることを目指し、他の分科会や企画全体は、大会実行委員会と意見交換しながら進んでいます。本年は6月15日・16日の開催です。今後の概要のお知らせに、関心を寄せていただければと思います。

県内での活動としては、今夏は一宮・橿形において、ストローハウス・新聞紙ドームづくりを通してのこどもとの交流、県民の日イベントの折り

紙建築は引き続き人気があるものの、それを今後はどのように活かしていくか、改めて検討が必要な時に来ていると感じています。



女性部会の活動報告

全国大会（京都大会）に参加して

早朝のバスに遅れずに乗れてひとまずホッと、二日間またパワフルな同士達とご一緒できることにワクワクしながら、「山とまちと木造建築」をテーマの第60回建築士会全国大会・京都大会に参加させていただきました。

式典は3200人の建築士が集う大きな会場でオープニングセレモニーでは「新始め」の儀式があり、番匠と呼ばれる大工の伝統行事は、歴史ある町並みや町屋造りが浮かぶ、幻想的な京都らしい印象でした。

そして、修学旅行以来の銀閣寺や、宇治の方面では平等院などのお寺めぐりをしました。歴史に詳しく雑学も豊富な先輩方との散策は楽しく、幅広い知識と人としての豊かさにふれ、まだまだ自分を重ね感じたりもしました。つい仕事に直結したモノの見かたをしてしまいますが、それをすぐ口に出して共感、意見をもらえるところは、近

女性部会 塩澤 礼子

所の奥様方とのつきあいではできないところです。女性部の方との時間はいつも横のつながりが心地よく、そしてまた、仕事への活力をいただける場で感謝です。今回もありがとうございました。



山梨県地震防災訓練（被災建築物応急危険度判定訓練）

石和支部 鶴田 正 樹

【平成29年11月26日(日) 午前8時20分頃「曾根丘陵断層帯」付近を震源とするマグニチュード7.3の直下型地震が発生し、笛吹市では震度7の振れを観測、峡東地域全域で大きな被害が発生した】という被害想定のもと、山梨県建築士会石和支部より10名で応急危険度判定訓練に参加させていただきました。

建物の倒壊などによる二次被害を防止するために応急危険度判定を実施するのですが、本当にそうい

う場に行って経験しないとなかなか対応できないと思います。かといって、そうそう経験できる機会は少なくなく、それでも大震災はやって来るわけで、そのためにも訓練は必要だと思うし、もしもの時に備えていい経験（訓練）になったと思います。

いつ起こるか分からない大地震に素早く対応できるように、これからも応急危険度判定訓練に積極的に参加していきたいと思っています。



第1回 山梨県建築士の集い 実行委員会発足

青年部会 長 坂 治

「山梨県建築士の集い」は、青年部会の企画として、当会全会員を中心に、山梨に関係する全ての建築士や建築士に関する方を対象に、活動紹介や懇親会により、山梨の建築の将来を考える機会です。ゆくゆくは、全国大会、関ブロ大会に次ぐ、皆さまが実施できてよかったと思える会を、目指すものです。昨年春より検討し、各位に相談をさせていただきましたが、この度、実行委員会としてスタートすることが出来ました。

企画構成は関ブロ（関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会）にならい、山梨県独自で各支部大会（隣接支部との合同など）として実施していきます。第1回は都留支部大会として調整していますが、実施時期は30年4月を予定しています。以前役員の方などに2月とご案内していましたが、支部連絡及び会報建築士への同封などにて、改めてご案内させていただきます。ご協力、よろしくお願いいたします。

オリンピックの年までに日本の住宅（建物）が変わる

編集委員会 河野 広

■省エネ基準適合義務化へ

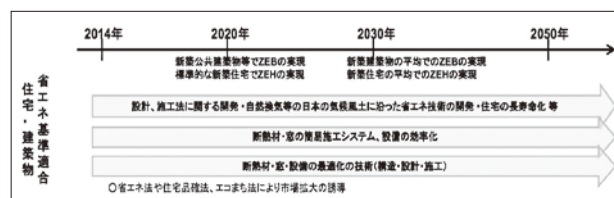
2015年（平成27年）7月に建築物の省エネ性能の向上を目的として「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）」が制定され、2017年（平成29年）4月に施行されました。それにより、2000㎡以上の大規模非住宅建築物の省エネ基準適合義務化と適合性判定が、300㎡以上の住宅を含む建築物の届出制度が始まっています。しかし、これだけで終わりではありません。今後、住宅を含む全ての新築の建築物で省エネ基準の適合義務化が段階的に拡大して行き、2020年（平成32年）に義務化される予定となっています。

■適合義務化されると

2020年（平成32年）に住宅を含む全ての新築の建築物で適合義務化されるとどうなるか？と言います。「省エネ基準に満たない建築は建設出来ない（確認申請が下りない）」ということになりますし、全ての建物に対して（住宅に対しても）確認・完了時には省エネ基準による「適合性判定」が義務化される事にもなるでしょう。また、法

律が変わる度に問題となる旧法の建物ですが、「既存不適格建築物」となるわけですから、耐震に関する法律の時の様な問題が浮上する事にもなります。さらに、省エネ基準になじまない建物。例えば、開口部を大きく取ったり真壁を用いる様な日本の伝統建築物が建設出来なくなる可能性もあるのです。

経済産業省の「エネルギー基本計画2017年」。オリンピックの年2020年を目指しての「建築物省エネ法」。さらに10年後の2030年を目指して新築住宅や建物のゼロエネルギー化「ZEH（ゼロ・エネルギー・ハウス）ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）」と建物の省エネ化が進んでいる事は無視出来ない動きです。



気候風土適応住宅のススメ

〈省エネ計算の矛盾点〉

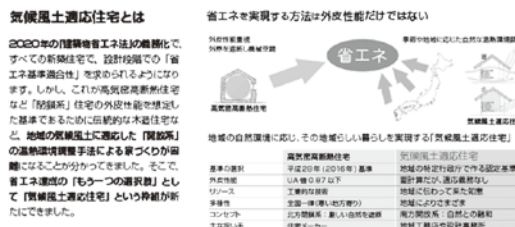
省エネは外皮性能でしか達成できないわけではありません。外皮性能が悪くても、低いエネルギー消費量で生活できるような家づくりや暮らし方が実際にあります。その代表となるのが、日本の伝統的な木造住宅です。外皮性能をベースとした省エネ計算にはそぐわないという理由で日本の住文化である伝統木造住宅がつくりにくくならないよう、国会の国土交通委員会の附帯決議がなされ、外皮性能を適用除外とし、一次エネルギー使用量についても緩和措置される「気候風土適応住宅」という枠組ができました。

〈どのような家が、不得意分野か？〉

どういう建物が、この計算プログラムでは正しく評価されないのか。ひと言で言えば、断熱材を入れることを前提としない建物。日本の伝統的な木造住宅、大きな開口部をもった外界に開かれたデザインの住宅、ログハウスなどは、なかなか実際の消費エネルギー実態に沿った評価がされにくいのです。

〈国交省で策定した「気候風土適応住宅」ガイドライン〉

国交省では、これらを「気候風土適応住宅」として位置づけ、外皮性能の適用除外、省エネ性能判定プログラムの緩和措置をとることとしました。もちろん、単に「外皮性能が省エネ基準に満たない」というだけでなく、各地の気候風土に応じた、環境調整の工夫があり、少ないエネルギーで暮らす知恵や技術が認められることが条件となります。



気候風土適応住宅、 山梨県での取り組み報告

〈小淵沢での勉強会開催〉

平成29年11月4日に八ヶ岳らしい家づくりを考える勉強会を、山梨県北杜市小淵沢町で開催しました。省エネ計算と気候風土適応住宅を知ることテーマに、見学会とあわせての3部構成。

スタッフ講師を含めて80名の参加、アンケートにも58名から回答を受けるなど、省エネ法と気候風土適応住宅に向き合うことで、個人として、それぞれの事業として、地域の建築として、様々なことに向き合うことになり、多様な参加者ではありましたが、多くの方がここに向き合い始めたことが分かる感想を頂いています。



勉強会準備段階として、8月末から9月上旬で県庁など各所相談を行い、9月8日には大工の横山さんが取り組んだ省エネ計算の勉強会を開催しました。その後、講師の辻 充孝先生を訪問し、当日発表者の省エネ計算の検証を行い、伝統木造の設計者である高橋昌巳先生とも事前相談を行いました。次回開催予定として、北富士支部での調整が行われています。

〈八ヶ岳らしい家づくりを考える会〉

今回の勉強会を開催するにあたって、八ヶ岳周辺の建築に携わる人々で準備を進めてきました。この名称は主催団体を定める過程で決まったものですが、開催後のまとめの会で、初代会長が横山潤一氏と定まるなど、建築士会の枠に留まらない建築事業者での「気候風土デザインを磨く～省エネ計算と向き合う～」連続勉強会など、地域での取り組みが引き続き行われています。

県からのお知らせ

山梨県県土整備部建築住宅課

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenchikujutaku/index.html>

—平成29年度山梨県建築文化賞—

山梨県建築文化賞推進協議会

「サンカク」、「女神の森セントラルガーデン」が建築文化賞に選ばれました

本年度の山梨県建築文化賞への応募（住宅建築 22 点、一般建築物等 30 点、公共建築物等 19 点、計 71 点）の中から、建築文化賞には「サンカク」と「女神の森セントラルガーデン」の 2 点が、また建築文化奨励賞には 5 点が選出されました。

昨年 11 月 24 日に県立図書館において表彰式が行われ、後藤知事から受賞作品の建築主、設計者、施工者に表彰状と記念品が贈られました。

これまでの受賞作品も含め、建築住宅課のホームページに掲載されていますので、是非ご覧下さい。建築士会ホームページからもアクセスできます。

今後とも、本事業の推進に建築士皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

【平成 29 年度 山梨県建築文化賞等表彰建築物一覧表】

(敬称略)

部門	建築物の名称	所在地	建築物の概要		建築主	設計者	施工者	
			用途	構造・規模				
建築文化賞	住宅建築	サンカク	北杜市	住宅(別荘)	木造一部 S 造 2 階建て 116.70 m ²	個人住宅のため 非公表	空間研究所	(有)土橋工務店
	一般建築物等	女神の森セントラルガーデン	北杜市	集会場	S 造・RC 造 地上 2 階・地下 1 階建て、 5,385.13 m ²	(株) AOB 慧央グループ	・(株)竹中工務店 ・(有)永山祐子建築設計	(株)竹中工務店 東京本店
建築文化奨励賞	一般建築物等	evam eva yamanashi	中央市	洋品店 飲食店 展示場 事務所	木造 2 階建て 383.35 m ²	近藤 ニット(株)	奥野公章 建築設計室	(株)丸正渡邊工務所
	一般建築物等	河口湖とらのこ保育園	富士河口湖町	保育園	S 造・RC 造 地上 2 階・地下 1 階建て、 5,385.13 m ²	医療法人社団 青虎会	山下貴成 建築設計事務所	白幸産業(株)
	公共建築物等	山中湖村平野地区公園「ゆいの広場ひらり」(北工区)	山中湖村	集会場	木造 平屋建て・2 階建て 275.33 m ²	山中湖村	・(株)イー・エー・ユー ・(株)文化財保存計画協会 ・(株)馬場設計	富士急建設(株)
		小淵沢駅合築駅舎	北杜市	駅舎・自由通路	S 造 2 階建て 979.69 m ²	北杜市・ 東日本旅客鉄道(株) 八王子支社	・東日本旅客鉄道(株) 八王子一級建築士事務所 ・(株)ジェイアール東日本建築設計事務所 ・(株)北川原温都市研究所	東鉄工業(株) 八王子支店
	良好なまちなみ景観を形成している建築物等	丸藤ワイナリーの事務所棟	甲州市	事務所	RC 造 2 階建て 335.36 m ²	丸藤葡萄酒工業(株)	一級建築士事務所 伝匠舎	伝匠舎(株)石川工務所

【山梨県建築文化賞の応募・受賞件数(第 1 回～第 28 回)】

住宅建築の部門			一般建築物等の部門			公共建築物等の部門			良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門				計			
文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	部門別受賞数	応募数	文化賞	奨励賞	特別賞	応募数
9	33	874	17	31	834	18	28	702	6	36	住宅 13 一般 26 公共 3	16	50	128	1	2,426
42			48			46	42		179							

※・第 1 回、第 2 回は、一般建築物等、公共建築物等、良好なまちなみ景観を形成している建築物等の 3 部門で募集。(住宅建築は一般建築物等に含まれた)

- ・第 3 回からは住宅建築、一般建築物等、公共建築物等の 3 部門で募集。良好なまちなみ景観を形成している建築物等については 3 部門から賞の主旨にかなうものを審査委員会の審査により選出。
- ・第 17 回からは、国、県の建築物についても表彰対象となる。

※ 山梨県建築文化賞推進協議会(構成団体)

(一社)山梨県建設業協会、(一社)山梨県建築士会、(一社)山梨県建築設計協会、(一社)山梨県建築士事務所協会、(公社)山梨県建設技術センター、山梨県